





## 史料一 棟札等釈文

- (1) 本章は二次調査対象寺社で実際に調査し、あるいは関連史料から抽出した二次調査対象建物の建立・修理に関する棟札・木札・墨書・刻銘（棟札等と称する）の釈文を集成した。原則として近世以前のものに限り、二次調査対象建物が近代の建立の場合は、その建立に関する史料も含めた。
- (2) 寺社名の番号は第二章2の各個解説の寺社名の番号と一致している。
- (3) 三十五、大糠神社観音堂の墨書は複雑なので、ここでは取り挙げず、史料二に収録した。
- (4) 各寺社の棟札等は紀年の古い順に並べた。
- (5) 史料名の下に数字等は、棟札の全長・肩の高さ・上幅・下幅・厚さの順に記載し（単位はミリメートル）、その後に材種と木取り・仕上げを記した。調査の都合でこのデータはすべてについては採取できていない。梵字は（梵）と略記した。
- (6) （オ）（ウ）は棟札の表と裏を示す。

一、米粉神社（香住区境）

(1) 寛永十年造立棟札 531 527 105 95 6 杉・板目・鉦（古い文字をなぞって書いていて、誤りが多い）

一切日皆善一切得賢菩薩皆威徳 于時寛永十式曆文願主□□敬白

(才) (梵) (梵) (梵) (梵) (梵) (梵) (梵) (梵) (梵) (梵) 木修右造立□本□境村中□安意諸人快樂祈所

羅漢皆斷漏以此城賢註願我成吉祥 五月十一日□之也五大工一日市村弥右門

(ウ) (昭和三十九年の本殿改築の大工等がマジックで書かれている)

(2) 寛文九年御社造立棟札 543 528 71 68 5 杉・板目・鉦

(梵) 一切日皆善一切宿皆賢諸仏皆威徳 右奉造立御社競村旦那衆各々息災延命

(才) (梵) 福寿増長一切満足所別者大工一日市村長三良介

(梵) 羅漢皆行滿以此実言願成就吉祥 于時寛文九<sup>巳</sup>酉年四月三日諸旦那寺敬白

仏日照三世何時非大吉

(ウ) (梵) (梵) (梵) (梵) (梵) (梵) (梵) (梵) (梵) (梵)

覚日転四州無歳有小凶

上板そこね也、間屋  
斗御建立仕候得□  
さかへ村中として肝  
煎四月三日ふき□也、

(3) 享保十四年大明神再興棟札 538 524 178 165 10 檜・板目・台鉦

享保十四龍<sup>巳</sup>酉大工頭領若松村高家尚留 同子助太夫

不朽氏子 守柄村中村長兵衛 木挽御亦村 伊兵衛

(才) (梵) 奉再興 (梵) (梵) (梵) 大明神本地十一面觀世音

繁栄所

同村組頭

九月初吉祥日

坂江村庄屋山田平三良 田中長右衛門  
別当一日市村卯月嶋山薬師院長福寺

当社 (梵) (梵) (梵) 大明者、雖有往古又歴歲月甚朽損矣、氏子中詣当社之毎日視之

激歎至切也、故進当邑之漁師云、総神破壊則村邑忽有不吉、所謂神依人之敬

(ウ) 増威添福、就中繇斯漁師發建立之念、幸趣海中之日忽以一糸号神繩以其

價既成矣、冀依此白業村内家門繁昌、兼由靈神護念之勝徳、豁開自己之

仏性乘仏海之慈航令得、无上之大果云、尔別当長福寺義観謹言、

(4) 寛政九年米粉大明神建立板札 181 170 580 577 12 檜・板目・鉾

寛政九丁巳九月吉祥日

一米粉大明神建立寛政九巳八月  
 別当長福寺ニ而二方郡湯村□□仁蔵  
 此歳仕候、則八月中ニ出来致シ同九月  
 朔日ニ長福寺ニ行行列ニ而御洗宮社□候、  
 尤添片地ニ出立料物四拾目相渡シ、其外  
 開筭之節初尾ハ供米神酒何カ入用六拾目  
 御座候而都合百目ニ而出来仕候、其後  
 割合仕候相談致候処、人々寄布御座候  
 而無滞相済申候、則寄布之人々是ニ  
 記奉納仕候、

覚

一金子百疋	当村平吉娘 京都嶋屋内 とみ	一五分	与左衛門
一銀一匁	長門屋娘 京都ニ而 あさ	一同	七右衛門 甚四郎
一拾五匁三分	和次郎百歩一 氏神講□錢 二口、	一同	□□郎 太兵衛
一拾五匁	山田 平三郎	一同	市五郎 与七
一拾貳匁	藤原 与三左衛門	一同	庄八 弥左衛門
一拾匁	勘兵衛門	一同	安右衛門
一四匁	三右衛門	一同	李四郎
一四匁	清七	一同	喜介
一四匁	市三郎	一同	与三兵衛
一四匁	権三郎	一同	太七

一四匁	庄五郎	一同	五郎介
一式匁	善九郎	一同	七三郎
一四匁	竹次郎	一同	田中
一四匁	金子平七	同上	介八
一三匁	久四郎	同上	以上
一式匁	甚次郎		
一式匁	平兵衛		
一式匁	長左衛門		
一式匁	佐吉郎		

二、通玄寺（香住区香住）  
 (1) 天和四年客殿創建棟札

(才) 皇風永扇仏日興隆 但州美含郡香住村瑞龍山通玄禪寺  
 通玄峰頂檀信無窮 依当門檀越之資助令創建客殿者也

于時天和甲子二月良日 住山比丘 別伝亮実

(ウ)

時庄官喜多村漁藏  
 守重  
 大工 中井源左衛門

(2) 享保二十年妙見宮造建棟札 左肩欠損

棟 神功浩浩神德昭昭 奉転読大般若理趣分当社安穩祈所

(才) 奉造建当山鎮守妙見宮一社 瑞峯山通玄現住密堂宗顯書焉

□<sup>〔案〕</sup> 凡有禱祈必蒙感応 是時享保二十乙卯夏四月如意珠日

但馬国美含郡香住村瑞峯山通玄禪寺鎮守妙見大菩薩氏子之願頭久代氏玄性

居士多年抱信心積宮嶽之助成其功甚綿密也、因于茲今時庄官同性勘助並組頭嘉右衛門同

(ウ) 新右衛門同六右衛門総氏子中抽丹誠茲年命工新奉再造当社也、伏願天下太平国主安寧五穀

豊登村中無災無難増福増寿次冀寺門鎮靜海衆咸安諸縁吉利矣

(3) 文政七年經藏上梁銘

瑞峯山通玄禪寺經藏上梁銘序

昔時大般若六百卷憑十方檀那信施寄附既成矣、雖然尋常无  
宝藏寺產簿福而工費不此言財賄難給乎、于茲信祖山城屋貞七  
(才) 奮發一臂力般若之宝藏頓成也、厥功未代之壯觀也、村里繁昌次  
家運長久子孫榮昌不可勝計矣、唯修庶幾天下清平于戈不起疾  
病消除諸祖咸安年穀豐登 現住伝法比丘

今歲文政七年甲申夷則

真天崖謹書写

工匠若松村

喜七

銘曰伏願

今上皇帝

恩沢普霑桑城六十余州  
叡齡齋保聖代万八千歲

(ウ)

大相国公

龜齡延々永固仏法金湯  
麟趾振々益壯皇家柱石

石城府君

武運長久養蓋代功臣氣  
文道政別事治国安民方

五、大乘寺(香住区森)

(1) 正徳二年觀音堂再建立棟札

正徳二壬辰載

肝煎人当村

庄屋岡本

治郎兵衛

大谷村

守柄村

(★に続く)

大願主大梵天王

施主者檀那中

組頭中村

三右衛門  
与市右門

加鹿野村

間室村

七日市村

封 聖主天中天

迦陵頻伽声

奉再建立但州美含郡森村亀居山大乗寺觀音堂一字天長地久四海泰平万民豊繞

寺内安全興隆仏法  
檀那繁昌諸人快樂

修

封 哀愍衆生者  
我等今敬礼

大勸進帝釈天王

四月廿一日普請成就

本願主当寺住侶権大僧都大阿闍梨法印光山比丘生歳四十八弟子頼深

敬白

封

(★) 檀那中并谷中寄進 大工棟梁出石ノ住人青山市郎右門 仕手 同所 角岡喜太夫 一郎右門弟子 市郎右衛門兄弟  
奉加者別帳箱入有 鍛冶 当村之住藤原五郎兵衛国直 五郎兵衛 青山吉右門 青山半兵衛  
同 勘右門国利 九左衛門 同 加兵衛 同 加右門  
岩瀬平九郎 同 市三郎 正木五郎左門

(★★に続く)

棟梁油良村 村重三郎 □□村 □□門 封  
木挽 河西谷村三右門 同村 孫□門  
(★★) 桑本村 市兵衛 同村 八郎右門  
出石村 又七 一日市村 七兵衛

正徳式年

(ウ) (梵) 正徳元辛ノ卯歳六月七日ノ大工入同月十三日 (梵)

新始翌辰ノ卯月廿一日令成就畢

壬辰卯月廿一日

(2) 寛政六年客殿及庫裏建立棟札 (2)と(3)は一对で作成されている) 1534 1520 390 390 30 檜・板目・台鉋

(梵) (梵) 若末法世人長誦此真言

(梵) (梵) 棟

(才) (梵) (梵) 寛政六歳甲寅弥生十六日亀居山大乗寺

(梵) (梵) 札

(梵) (梵) 刀兵不能害水火不焚漂矣

聖主天中天 七日市 加鹿野 大谷

迦陵頻伽声 大檀那大梵天王 惣檀那 森 守柄 各如願成就矣

再建沙門現住心城房大阿闍梨密英 敬白

(ウ) 再建沙門現住心城房大阿闍梨密英 敬白

哀愍衆生者 大願主帝釈天王 豊岡 彦四郎重賢

我等今敬礼 大工棟梁後見

(3) 寛政六年客殿及庫裏建立棟札 1545 1515 390 390 30 檜・板目・台鉋



大工棟梁

豊岡彦四郎門人

森村大工

森村木挽

定助

定助後見

伝右衛門

豊司

宇兵衛

青山常吉

下浜村

五兵衛

守柄

助七

竹野浜

善八

仁方湯村源三郎

豊岡

彦七

守柄

幸助

工石

喜助

守柄

忠右衛門

伊兵衛

大野

幸七

丹後宮津

久四郎

湯村

魯平

清兵衛

阿金谷

市四郎

出石

惣七

豊岡

善藏

今森

茂八郎

松本

兵八

丹後

常四郎

出石

安兵衛

大谷

五郎七

下浜

和四郎

市場

甚八

宇日

治郎吉

林

五平治

豊岡

十助

宵田

伊左衛門

湯村

常右衛門

松本

栄助

小丸

嘉助

上ヶ

弁治郎

太兵衛

羽入

平吉

藤八

森

徳右衛門

作和

長七

七味小代

伊右衛門

惣助

万吉

太左衛門

轟

清蔵

磯五郎

鍛治

萬吉

切浜

徳治郎

湯島

辰五郎

森

徳右衛門

竹野浜

伊右衛門

早渡

孫治郎

與七

諸崎

五郎左衛門

二方久谷

清三郎

七左衛門

豊岡

源助

吉助

七左衛門

幸七

余部

治郎大夫

御崎

定四郎

御崎

甚右衛門

多子

源大夫

訓谷

新七

守柄

徳太郎

余部

元治郎

猶治郎

平四郎

権七

小原

常治郎

一日市

勘治郎

金治郎

源兵衛

守柄

金治郎

香住

嘉兵衛

森鍛治惣治郎

莊助

大谷

六右衛門

長右衛門

武右衛門

與三治郎

加鹿野

清七

與三左衛門

守柄

三郎左衛門

孫左衛門

守柄

三郎左衛門

孫左衛門

彦左衛門

甚三郎

七日市

莊屋

平三郎

利助

伊三郎

森莊屋岡本治郎兵衛

孫大夫

伊平治

元吉

彦七

藤左衛門

孫六

間室

與治兵衛

藤左衛門

治左衛門

臨時有家々

油良

新兵衛

臨時有家々

七ヶ村惣壇中

森莊屋岡本治郎兵衛

孫大夫

伊平治

元吉

彦七

間室

與治兵衛

藤左衛門

治左衛門

臨時有家々

油良

新兵衛

臨時有家々

臨時有家々

臨時有家々

臨時有家々

臨時有家々

(才)玉女神

番神 匠神 名

茸司

湯村

常右衛門

松本

栄助

小丸

嘉助

上ヶ

弁治郎

太兵衛

羽入

平吉

藤八

森

徳右衛門

作和

長七

七味小代

伊右衛門

惣助

万吉

太左衛門

轟

清蔵

磯五郎

鍛治

萬吉

切浜

徳治郎

湯島

辰五郎

湯村

常右衛門

松本

栄助

小丸

嘉助

上ヶ

弁治郎

太兵衛

羽入

平吉

藤八

森

徳右衛門

作和

長七

七味小代

伊右衛門

惣助

万吉

太左衛門

轟

清蔵

磯五郎

鍛治

萬吉

切浜

徳治郎

湯島

辰五郎

湯村

常右衛門

松本

栄助

小丸

嘉助

上ヶ

弁治郎

太兵衛

羽入

平吉

藤八

森

徳右衛門

作和

長七

七味小代

伊右衛門

惣助

万吉

太左衛門

轟

清蔵

磯五郎

鍛治

萬吉

切浜

徳治郎

湯島

辰五郎

湯村

常右衛門

松本

栄助

小丸

嘉助

上ヶ

弁治郎

太兵衛

羽入

平吉

藤八

森

徳右衛門

作和

長七

七味小代

伊右衛門

惣助

万吉

太左衛門

轟

清蔵

磯五郎

鍛治

萬吉

切浜

徳治郎

湯島

辰五郎

湯村

常右衛門

松本

栄助

小丸

嘉助

上ヶ

弁治郎

太兵衛

羽入

平吉

藤八

森

徳右衛門

作和

長七

七味小代

伊右衛門

大神 工神 連

工匠

湯村

魯平

清兵衛

阿金谷

(4) 旧骨墨書

- ①よしりことなち、私義もうきちとく夕か御出候□ (裏に 上)
- ②弥御堅勝御座候成後陣所度候然ハ先日御届ケ被下忝存候御同所如弥栄事 (裏に 上)
- ③甲寛政六寅二月
- ④寛政六甲寅歳二月十六日豊屋細工人美含竹野浜 福田善八也
- ⑤此板上々
- ⑥手計一分上
- ⑦甲寛政六歳寅二月吉日豊細工人竹野浜福田善八
- ⑧寛政六歳甲寅二月十七日豊細工人美含郡竹野浜 善八也
- ⑨甲寛政六寅二月五日 竹野浜豊屋 善八細工人也
- ⑩但馬美含郡森村大乘寺様 豊細工人善八
- ⑪上 (裏に 大)
- ⑫寛政五年 五月晦日 竹野浜 善八
- ⑬細工人竹野浜 善八

(5) 式台玄関獅子彫刻刻銘

彫物師

丹州栢原町住人

中井権次正貞

(6) 式台玄関欄間彫刻墨書

彫物師

丹州栢原町住人

中井権治正貞

並ニ門人

久須真助

中井清次郎

獅子共

彫刻

数五ツ

大乘寺現住

密円

文政六癸未年新調

(7) 式台玄闕欄間障子框墨書

椽

(北側障子北縦框) 玄闕 欄間内側障子北柱立附  
(北側障子南縦框) 玄闕キタヨリ中ノコヤニツク

寛政六甲寅卯月七日成  
大工守柄忠右衛門作

(南側障子南縦框) 玄闕椽欄間内側障子南柱立附  
(南側障子北縦框) 玄闕ミナミヨリ中ノコヤニツク

寛政六甲寅卯月七日成  
大工守柄忠右衛門作

(8) 山門彫刻刻銘

彫物師

青龍軒

中井権次橋正次

八、伊勢神社(香住区下浜)

(1) 天和四年本殿御正体墨書(別に棟札あり、打ち付けてあり積読できず)

天和四年三月十一日上屋

新建立、其時御正体土中

(才) 掘出シ社内ニ奉納之畢ス、遷宮

同十三日

阿舎梨頼儀代

田中正四郎

(ウ)(なし)

九、兵主神社（香住区九斗）

(1) 安永四年棟札写（社蔵の写しによる、棟札現物は内陣に置かれてっていると伝える）

願主但馬美含郡九斗村氏子中

大工両棟梁

于時安永四乙未年

庄屋 安右衛門

無南垣村

組頭 九郎三郎

中井与一左衛門保高

豊岡村

中井庄三郎広光

甚七

(梵) 奉再建三宝荒神宮棟札

十二月十有三日

正七

為吉

幸助

別当 無南垣

挽引

長谷寺

現住

久斗

与一郎

祐遍

無南垣

弥助

十、多田神社（香住区丹生地）

(1) 天明六年妙見宮建立棟札

封

聖主中天

大願主大梵天王

海音山住持何遮梨祐弘

封

(才) △ (梵)

迦陵頻声

奉再宮妙見宮広□衆生利益無窮祈処

封

哀愍衆生者

我等今敬礼

大檀那帝釈天王

丹生地邑

封

当村 総氏子中  
無南垣邑

(ウ) 時天明六丙午十一月吉日造畢 別当長谷寺（花押）

大工棟梁畑邑

宗兵衛  
新左衛門

金右衛門  
小工又市 木挽佐四郎

十二、兵主神社（香住区隼人）  
(1) 右正面縁束背面墨書

明治三十九年御段周囲之修繕

(2) 左脇障子柱下束正面墨書

明治三十九年修繕

十四、八柱神社（香住区畑）

(1) 享保十四年八大荒神勸請札

(才) 謹請 八大荒神社 祈修

(ウ) 享保十四年九月五日祭日  
小松家之氏神

十六、大倉神社（香住区本見塚）

(1) 享保十四年小倉大明神社（本殿）造立棟札 565 549 143 144 7（下部切断）杉・板目・台匏

享保十四年 但州美含郡佐津之庄本見塚村庄屋才三郎

(才) 奉造立小倉大明神社

組頭 太良左衛門

三良左衛門

五郎兵衛

治郎太夫

邑中

戊 八月朔日 別当无南垣村長谷寺

(ウ)

上岡村	和田梶右衛門
棟梁 中井伝九良	森田六兵衛
森邑 青山嘉七	間室邑 勘九郎
	上岡邑 重太夫
	森邑 伝右衛門
	木引

(2) 文化元年小倉大明御身体再建及び屋根替棟札 380 366 125 123 13 桧・柾目・台鉋

(才) 奉再建小倉大明神御身体  
造営者当村庄屋  
 文化元子歳 久保三良左衛門久林并氏子中

三月吉日 開眼師別当常光寺 氏者当処  
 権大僧都法印観住 久保氏末孫也

(ウ) 奉屋弥替当社大明神  
頭取当処庄屋  
 文化元子歳 三郎左衛門

九月穀旦 世話人当村 氏子中

十七、国主神社 (香住区奥安木)  
 (1) 天保三年国主大明神宮殿再建棟札写 (『兵庫県神社誌』所載)

奉再建国主大明神宮殿 領主両安木村氏子中  
 天保三壬辰年八月吉祥 鍵取奥安木村  
 宮田孫右衛門 (外略)

十八、冲野神社 (香住区訓谷)  
 (1) 明治二十九年芝居堂建立墨書 (梁の側面に書き付ける)

明治廿九年十一月  
新築

委員

沖野治良右工門

永田佐七

大工組頭

沼田源太郎

黒崎兼造

十九、八幡神社（香住区無南垣）

(1) 応安元年八幡宮建立棟札写墨書（内陣左壁面に書き付ける）

八幡宮棟札

奉建立八幡宮 遷宮神主卜部宿弥兼武

大願主福井新左衛門尉秋篠朝臣安昌

応安元年八月十五日

勤行中臣祓美曾伎祓六根清浄祓

大神楽人数十二人

大工藤原宗重

（墨抹）記之

(2) 享保四年八幡宮再建棟札

封

聖主天中天

迦陵頻伽声

大檀那大梵天王

享保四歲次<sub>己亥</sub>

奉再建八幡宮社時

三月十有五日

本願<sub>長谷寺主</sub>

阿遮梨祐真

大工<sub>出石町内</sub>

新左衛門尉

青山

封

当所檀越

九右衛門

<sub>庄屋</sub>

組頭

五兵衛

久兵衛

封

哀愍衆生者

大施主帝釈天王

結縁諸衆

惣氏子中欽白

封

我恭今敬礼

封

(ウ)

地頭仙石信濃守武運長久祈修

(3) 享保四年八幡宮募股墨書（はずされて置かれた四枚の募股の裏面に書き付ける）

享保四載 亥二月吉日 奉寄進之 当所 長左衛門 同 内	享保四載 亥二月吉日 奉寄進之 当所村中 組頭松森五兵衛 作者出石住 福富権四良	享保四年 亥二月吉日 奉寄進之 当所 中尾玄迪 油屋弥平治	享保四載 亥二月吉日 奉寄進之 当所 半兵衛 同 内
--	--	--	---

(1) 二十一、遍照寺(香住区小原)  
寛文十一年木原大明神社建立棟札

本願 権大大僧都法印良算	但馬国美含郡長井庄 小原村	中野村	八原村	藤村	大野村	大谷村	三谷村	寛文十一年
七力村内 市良右衛門	本願庄屋	庄屋 忠左衛門	庄屋 平助	庄屋 藤右衛門	庄屋 彦左衛門	庄屋 太良左衛門	□庄屋 三良右衛門	
年寄 弥兵衛	年寄 平左衛門	年寄 太兵衛	年寄 七良左衛門	年寄 源右衛門	年寄 五良左衛門	年寄 孫兵衛		
同 新兵衛	同 吉兵衛	同 仁右衛門	同 五良右門	同 源兵衛	同 助左衛門			
椋橋山遍照寺南性院 村中	村中	同 村中	同 村中	同 村中	同 村中	同 村中	同 村中	十月吉日
三百人	八拾八人	百四十三人	藤村四十五人	八拾六人	人数百人	人数百七拾人	亥	

但州城崎郡湯嶋村藤原藤田孫兵衛子  
頭料 藤田平兵衛家元 同郡 藤田平左衛門家元  
同郡津村日原家 同郡 木引吉良兵衛  
同 安藤五兵衛信次 同郡 や子屋 青野市良兵衛  
同郡 藤田六良右門家元  
同郡 長崎長二良吉定  
同郡 木工田平三良森久

(2) 宝永八年祖師堂再興棟札 751 728 165 143 13 樺・板目・台鉋



(才) 梵 奉再興祖師堂檀那二世安穩利他 満足村里息災祈処  
一切日皆善一切宿皆賢諸仏皆威徳 宝永六己丑天 現住法印由儀代成之  
羅漢皆断漏以斯成実言願我常吉祥 三月廿一日 大工出石住 吉三郎

(ウ) 梵 梵 梵 梵 梵

(3) 宝永八年鐘撞堂建立棟札 779 755 138 123 17 櫺・板目・台鉋

(才) 梵 奉建立法鐘同撞堂結縁衆現当安全五穀成就万民豊楽寺院繁荣利益衆生  
一切日皆善 一切宿皆賢 諸仏皆威徳 願主法印由儀末葉阿舍梨由山欽言  
羅漢皆断漏 以斯成実言 願我常吉祥 番匠出石住藤原朝臣鳥羽源四郎

大壇那 南无大梵天

(ウ) 梵 南无堅牢地神与諸眷属 于時宝永辛卯歲 小原村庄屋 高橋弥七  
南无五竜神王侍者眷属 檀中 中野村名主 長七郎兵衛 藤村名主 理右衛門  
南无帝釈天 四月吉辰 大野村名主 三郎兵衛 庄屋 八原村庄屋 弥左右門  
左衛門

(4) 享保十九年大師堂簀束墨書

享保十九年 出石うおや町

(梵) 八月吉日 中井惣太夫  
年十八成

(5) 寛延二年観音堂建立棟札 (建立は享保二十一年) 848 78 6 杉・板目・台鉋

(才) 梵 奉建立観音堂一字万民快樂仏法紹隆所 聖主天中天 迦陵頻伽声 大檀那大梵天王 住持秀雄  
哀愍衆生者 我等今敬礼 勸進者帝釈天王 但州出石城下  
文 大工 吉良兵衛

但州美含郡小原村遍照寺觀音堂修造記

夫当邑椋橋明神之本地十一面觀音堂傾頽年旧矣、依故住持法印秀雄竭力於再建募

資庶檀輦、自享保十九年甲寅明年乙卯之秋略故堂七間而為延裏五間締構已完修飾異

觀尋至丙辰三月本堂供養亦成矣、其間費用等皆是檀助之所致其功不淺況復長氏

豐重別寄附般若經一部永為當寺之什物、先師秀雄買得良田若干以供本堂之修料乎、於此

予議定欲使後嗣者自丙辰已後每至廿一年開本堂并祖師堂之宝鑰ヲ遙求國家之清平偏折檀那  
之福果也、因今錄其梗概永備于末代之不退云、時寬延第二己巳孟秋穀旦

秀雄遺弟遍照密寺現住旭峯 欽記

(ウ) (梵)

(6) 寬延二年大師堂再建棟札 886 176 8 杉・板目・台鉋

聖主天中天 迦陵頻伽声 大檀那大梵天王 為 梅室妙休  
自水信士 立円信士 速脫生死頓証菩提

(才) (梵) 奉再建大師堂一字天長地久密教紹隆祈処

哀愍衆生者 我等今敬礼 勸進者帝釈天王 但州美含郡長井庄小原邨  
遍照寺現住旭峯以淨財建立之

(ウ) (梵)

堂建立諸入用文銀一貫目 施主当住旭峯償之  
宮殿入用塗賃等文銀三百五十目 施主大野禪門善能  
願以斯功德 普及於一切  
我等與衆生 皆共成仏道 守柄村 長兵衛  
大工 当所 平 祐  
時寬延第三己巳年仲秋二十有一日 一日市 仁平次

(7) 宝曆三年木原大明神再建棟札 886 870 240 174 (下隅欠) 22 樺・板目・台鉋

当所村中 庄屋 藤村藤右衛門 七日市助右衛門  
庄屋 莊左右衛門 八原喜七 鉄山半兵衛 小原女人講中  
聖主天中天 大檀那大梵天王 中野村中 庄屋 大谷宇兵衛 其外氏子中不殘  
迦陵頻伽声 大庄屋 長治部 大野藤七 三谷助右衛門 境村助力有  
(才) 奉再建木原大明神社頭天長地久寺内繁昌氏子安康社頭不朽処  
哀愍衆生者 我等今敬礼 勸進者帝釈天王 本願主 先師秀雄遺弟旭峯領焉  
我等今敬礼 勸進者帝釈天王 別当椋橋山遍照密寺南性院謹言

(ウ) 梵

一切日皆善  
一切宿皆賢  
諸仏皆威徳  
羅漢皆断漏  
以斯誠実言  
願我常吉祥

棟梁 守柄長兵衛  
下役 下浜梶右衛門  
大工 当所 平助  
一日市仁平次  
訓谷伊平次  
当所 文七  
木挽 同 平兵衛  
森村伝右衛門  
宇屋湯嶋平四良

時宝曆第三星舎癸酉去年従  
十月二十有八焉今年十一月廿三日迄  
成弁了、大工数一千三百工、木挽手間  
三百工、宇屋八十工、都合諸職人造用  
三貫二百目七十四文通用也、一貫六百目  
当村、四百目余中野、米六石八原、米三  
石藤村、銀五十目鉄山、二百八十目大野村、  
六十目大谷村、五十目三谷村、五十目七日市村  
十二月朔日記焉畢、 欽言

(8) 大師堂向拝龍彫刻裏面刻銘

彫物師

丹州氷上郡栢原城下住人

中井丈五郎橋正次

【外に寛文十一年・宝暦三年の棟札がある】

二十二、薬師堂（香住区藤）

(1) 明治四十四年薬師如来殿堂奉再棟札

願主 藤村中

ノ、ノ、 聖主天中天 大檀那大梵天王

迦陵頻伽声

(才) 梵 奉再薬師如来殿堂一宇村内安全祈所

哀愍衆生者

ノ、ノ、 我等今敬礼 勧進者帝釈天王

別当遍照寺松田密雄

一切日皆善 于時明治四十四年五月八日

一切宿皆賢 大工棟梁若松村

諸仏皆威徳 北村富造

(ウ) 羅漢皆斷宿 小林年太郎

以斯誠宗言 北村梅蔵

願我常吉祥 伊藤藤吉

清水甚造 北村安太良

西岡伝造 井堀幾平

木挽 小原村

小原村

木挽 小原村

小原村

小原村

小原村

小原村

小原村

小原村

小原村

二十六、長福寺（香住区浜）  
(1) 大正十五年山門龍彫刻銘

彫工師

香住一日市

本多正一

大正十五年春

二十九、十二社神社（香住区鑑）

(1) 延宝四年十二社権現（本殿）建立棟札 912 879（右） 890（左） 181 180 28 桧・板目・台鮑

丙

延宝四年

[抹消]

小出備前守

大工

弟子 棟梁大工城崎郡湯嶋藤原之藤田平兵衛

黒崎三郎兵衛

家田惣兵衛

瀨取次郎助

(才) 奉建立十二社権現諸願成就国土般栄処

神主七郎右門

敬白

辰

九月吉祥日

[抹消]

年寄 多郎大夫

屋根や

同 源郎右衛門

次郎兵衛

同 八右衛門

(ウ) 延宝四年

丙辰

九月吉祥日

三十二、黒野神社（村岡区川上）

(1) 明和二年伊津岐大明神造営（本殿建立）棟札写（『兵庫県神社誌』所引）

奉修加造営 正一位伊津岐大明神

明和二乙 酉年九月廿六日

御領主山名鞠負源朝臣豊貴公

神主 田中大和守藤原忠敬

三十四、郡主神社（村岡区板仕野）

(1) 応永十五年郡主宮造立棟札写（『兵庫県神社誌』所引「郡中支配棟札写」）

郡主宮三社造立事、応永十五年九月二日、願主神園宗沙弥教阿弥、沙弥道善、大工藤原兼正、右古書二有之写置者也、両村宮社之棟札二候、文化十五戊寅年迄、四百四年二至ル、

三十六、高井神社（村岡区高井）

(1) 享保元年本殿造立棟札写（『兵庫県神社誌』所引「本殿造立棟札」）

奉造立当社一字氏子繁昌祈修  
享保元年九月十二日

(2) 享保十五年本殿再建記録写（『兵庫県神社誌』所引「社家旧記」）

氏神両社大権現享保十五年十月十三日再建

三十七、薬師堂（村岡区高井）

(1) 享保十二年薬師如来堂造立棟札 900 881 115 100 14 櫛・板目・台鉋

(才) (梵) 一切日皆善 一切宿皆賢 諸仏皆威徳 享保十二丁未 中村利左右衛門  
奉造立薬師如来堂一字 善性寺徳潤 当村庄屋中村□兵衛 中村  
羅漢皆断漏 以斯誠実言 願我常吉祥 二月十二 惣村中 大工村岡住  
南与□衛  
南五兵衛

(ウ) (梵)

南無堅牢地神 与諸眷属 六本宮木 一本中村平八  
南無五帝龍王 侍者眷属 堂柱施主 四本中村四郎兵衛 一本与右衛門  
一本中村徳左衛門<sup>五十四歳</sup> 一本長七郎

(2) 寛政十一年薬師如来宮殿再建棟札 622 607 181 183 5 杉・柂目・台鉋

聖主天中天

寛政十一己未年

高井村

大旦那大梵天王

六月上八日

願主 惣氏子中

(梵) 迦陵頻伽声

(才) (梵) 奉再建立薬師瑠璃光如来宮殿一宇天長地久当村繁昌祈修

(梵) 哀愍衆生者

勸進者帝釈天王 入仏導師善性密寺現住法印慶纂

敬 白

但馬七味郡一二分庄高井村

大庄屋 田中嘉蔵清行

父同 庄左衛門正俊

一切日皆善 一切宿皆賢 諸仏皆威徳

同前年寄 直次郎

(ウ) (梵)

羅漢皆断漏 以此誠実言 願我常吉祥

(梵)

組頭 利左工門 又右工門

世話人

甚次郎

大工

高津村 作山村

下垣清左衛門忠義 宗兵衛

三十八、寺河内神社 (村岡区寺河内)

(1) 宝永四年三宝荒神社再建記録 (『兵庫県神社誌』所収「七美式外神名記」)

氏社三宝荒神社御神璽円石坐一字在鰐口一口、宝永四亥歳八月二十四日再建、小社稻荷社山神社享和元年五月再建、

四十二、熊野皇神社 (村岡区口大谷)

(1) 嘉永二年歳王大権現普請奉納札

(才) 蔵王大権現御普請

奉  
嘉永二巳酉歳  
富田元三郎成方  
大工棟梁朝来郡竹田町

- 同所 木挽棟梁中大谷 松右工門
- 長三良 木挽口大谷 彦左工門
- 元八 同中大谷 吉兵衛
- 滝三郎 同所 伊三郎
- 喜代助 同中大谷 民右工門
- 周助 同口大谷
- 市治郎 屋根屋豊岡
- 磯平 善五郎
- 乙治郎 同人子 喜平治
- 兵吉 同 義三郎
- 林蔵 同 善三郎
- 助太郎 同弟子 善作
- 佐七
- 八井谷
- 治三良

(ウ)

但馬竹田町  
東梁元三郎成方

(2) 嘉永二年蔵王大権現社再建棟札

聖主天中天 遷宮導師别当安養寺一代  
 迦陵頻伽声 権大僧都法印賢賀  
 哀愍衆生者 嘉永式巳酉歳  
 我等今敬礼 四月二十有二日  
 大工棟梁朝来郡竹田邑  
 富田元三良成方

願主  
 庄屋 與三兵衛  
 年寄 新右工門  
 中大谷村 氏子中  
 百姓代 義助

(才) 奉再建蔵王大権現社

(ウ) (梵) (梵) 但州七味郡中大谷村

(3) 嘉永二年蔵王大権現再建棟札



(才) (梵) 奉再建藏王大権現社  
 聖主 天中天 遷宮導師 別当 安養寺一代 庄屋 吉右衛門  
 迦陵頻伽声 權大僧都 法印 賢賀 年寄 作左工門  
 哀愍衆生者 嘉永貳巳酉歲 願主 口大谷村 氏子中 同 定治郎  
 我等今敬礼 四月二十有二日 悉皆引請元々 岡倍右工門 忠恕  
 後見同人祖父 岡五郎助 忠混  
 大工朝来郡竹田 富田元三 良成方

(ウ) (梵) (梵) 但州七味郡口大谷村

(4) 明治二十三年熊野皇神社再建棟札

旧社 嘉永二巳酉年四月再建ノ処 明治十年九月廿三日ノ夜暴風雨 倒木之為社殿 僅々三十有八年之星霜ヲ経テ 惜哉 破壊シ 旧社ノ寸尺ヲ以テ 本年猶再建ス

(才) 熊野皇神社奉 再建

十月六日

受持 祠掌 福岡村 祭主 高倉造酒 建築委員 口大谷村  
 萩岡 祠官 兼出納 口大谷村 岡 清十郎  
 副祭主 田中伊奈登 兼出納 口大谷村 岡多郎 兵衛  
 養父郡吉井村 祠掌 典礼 喜多村重清 同断 中大谷村  
 忠宮村 祠掌 長牛 西田勝幸 中大谷村  
 西岡源右衛門  
 藤岡三郎右衛門  
 氏子中

(5) 本殿向拜龍彫刻裏面刻銘

彫物師  
中井権次橋 正貞  
丹州栢原町住

(1) 四十五、大田神社(村岡区大笹)  
本殿向拝龍彫刻裏面刻銘

彫物師

丹州栢原住  
中井権次橋正貞

四十七、森脇神社(村岡区森脇)  
(1) 宝曆八年本殿造営墨書

(西側面縁下後方小壁)

宝曆八年寅三月  
ヨリ七月十三日マテニ  
過半出来、大工頭領  
角岡平八郎高家  
同太郎八道運  
平八弟同名七五郎  
道秀三工作之、  
平八郎出石生蘭ニ□□テ  
近來之達人、工之  
道ニクラカラス七□  
出石ニテモ名ヲハシ名人  
タルニ、コトニ掘物細工  
近來ノ仕人トアラ□□ル、  
太郎八生年□□八  
歳父ノ情カ□□  
テ一キリニノコ三テウノ  
カンナケツリモ肌ヘヨク  
ノミ□□カノ手キハマ□  
センダン二葉乃セイ  
アリト時ノ人ミナ□□、

(西側面縁下前方小壁)

けつり堀物名人  
ノ仕立タルナレハ、白木  
作ト云人アリ、我モ  
マタ左ニ思ウ併  
片田舎ノ小宮ナレハ  
下民ノ見ル目、王宮ニ  
しかしといふ人多シ、  
隨之テ龜末絵見  
を求テ治右衛門志つけな  
事ながら名人をたのみ事  
もなき故、自細工  
に増衛門安養寺  
ノ弟子秀海坊など  
手伝ひとたのみかくも  
なりよしニて、やかてにげ  
る時ばけの皮□  
出所かく□  
かなし、

(東側面縁下前方小壁 上下逆に書く)

そもく和池安養寺  
今の大法印也  
寛□願も一入□□殿  
なほし宗恵殿  
□□あわせな□きもらひ  
今此願ミちたり□□な  
□□□宗恵右願  
成就□依安養寺  
此せつひつかけての  
世話いふ□なし、

(東側面縁下後方小壁 横向きに書く)  
□□岡 角岡太良八

(西側正面縁下小壁)

森脇村ニむかしより□□村  
にて福人もなし、此年別て  
村かたよはく民□□  
出ス者なし、併甚□□故  
重次郎事、先年者  
なみくならぬ福人□て  
八千余錢の田畑を□  
□つこうかたを□□者  
なし、しかし此せつ□び  
して□□□□なく  
実にきしんなし、

(東側正面縁下小壁)  
園治右衛門是年  
三十四歳、閑居父  
六十七歳法体  
して宗恵といふ  
此節建立乃願趣  
タリをとしふるミヤ乃  
破損をなけき

(2) 宝曆八年普請見舞札

【一枚目】

御ふしん御みまい

覚

一重之内 森脇村 伊兵衛様  
 一同行 同 金治郎様  
 一同行 〃 甚右衛門様  
 一同行 〃 弥右衛門様  
 一同行 〃 甚助様  
 一同行 〃 甚左衛門様  
 一同行 〃 老母□  
 一同行 〃 安治郎様  
 一同行 〃 長大夫様  
 一同行 〃 長右衛門様  
 一同行 〃 儀左衛門様  
 一同行 〃 佐七様  
 □そうし村中〆日々  
 一重之内 岡治右衛門様  
 自分うり物  
 たひく  
 一重之内 岡六郎右衛門様  
 同たひく  
 一しうゆう

一銀壺包 口大谷村  
 一御樽肴 〃 岡宗恵様  
 〃 岡治右衛門様  
 重之内  
 一せんまい 〃 上いんきやう様  
 しいろや  
 一この物の 〃 岡六郎右衛門様  
 一御肴 当村 伊兵衛様  
 一御肴 同 儀左衛門様  
 一せんまい わち 安養し様  
 一竹ノ子 口大谷 伊三郎様  
 一ひるはん 当村 伊兵衛様  
 昼飯 和地村 安養寺様  
 一たうえめし 村重〆  
 一みそ かさ□□村 七右衛門様  
 しよゆうけ  
 一みそ壺重 口大谷 岡六郎右衛門様  
 一御肴 〃 ざるかた様  
 一肴 ひかけ村 喜左衛門様

御上〆御米貳石を二年  
 願もらい当村庄や  
 甚□衛門しはらく  
 世話して宗恵役の  
 せつしは□□宮守を  
 世話しハし延し隠居する  
 より今の治右衛門に伝へて  
 宮□之利を九百目  
 ほとにもなるを以此年□□□  
 建立すへ□□而已、

にしめ わち安養寺様

【二枚目】

一自分うり物 わち利右衛門様

一ひるはん 森脇 重治郎様

一同 同 甚右衛門様

一しようにう 岡利左衛門様

一五尺間 口大谷 善七様

一御肴 わち 茂介様

一みそ壺重 森脇 伊兵衛様

一□ここの物 わち 利右衛門様

一五尺間 同 勘七様

一重之内 岡治右衛門様

みそ□の物 岡治右衛門様

一いりかし 同宗恵様ひ 御内

一にしめ 安養寺様

一御肴 岡六郎右衛門様

一御樽 孫右衛門様

重之内 同 嘉□郎様

同 清七様

同 治郎右衛門様

同 八左衛門様

同 孫左衛門様

同 喜右衛門様

同 又右衛門様

同 徳三郎様

同

同

一にしめ 安養寺様

一ここの物 □ 様

一御樽

重之内 ふ□□□

村上ちくご様

一御肴 当村

長右衛門様

一みそ 口大谷

岡治右衛門様

一夕飯 当村

甚助様

一ちやかし 口大谷

源五郎様

一御あし壺□

安養寺様

御ちや

一肴 当村

安次郎様

一おやかし ひかけ村

喜左衛門様

一御樽重之内 船岡

岡利左衛門様

御肴

一おしや たか□□

善八様

みそ壺重

一御樽 岡治右衛門様

一大根 かさなみ

善右衛門様

一ちしや 甚八様

一重之内 口大谷 門介様

一御樽 口大谷 岡□治右衛門様

一なつ大根 かさなみ 善九郎様

一おしや わち 利右衛門様

竹ノ子 治助様

一御肴 ふく岡 京や

しうゆうちや 岡治右衛門様

一しようにう 口大谷 岡六郎右衛門様

一くろまめ 同 吉右衛門様

一重之内 口大谷木引 七郎平様

竹ノ子 七右衛門様

一竹ノ子 かさなみ

ふき

一くろまめ 当村

伊兵衛様

一なつ大根 わち

喜右衛門様

【三枚目】

一 一重飯 当村 伊兵衛様  
一 [ ] いけな [ ] 様

一 御樽 かさなみ 七右衛門様

御肴 一 みそ 岡 [ ] 利左衛門様  
しようゆう

一 御ちや 口大谷 小右衛門様

一 一重飯 [ ] 佐七様  
甚右衛門様

一 ワかめ 口大谷 岡治右衛門様

一 ちや 口大谷 しょうせい様  
一 一重之内 中大谷 伊兵衛様  
紋助様

一 一重之内 中大谷 儀右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様  
内

一 もち壺重 口大谷 儀右衛門様

一 一重之内 中大谷 儀右衛門様

一 一重之内 中大谷 儀右衛門様

一 一重之内 同 長三郎様  
内

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一 一重之内 同 岡六郎右衛門様

一御肴  
一村中同事 かきつき承□

一重之内 中大谷 与治兵衛様  
一白米壹斗 同 甚八様

銀壹匁

一銀壹匁 村岡 治兵衛様

一ひかんちや□□

村中

よ□承申候

(三枚目裏)

右一宮大明神御社

普請中近在御方方

神御信心次ニハ拙者御懇意

衆中御音物□□候哉

別而時之庄屋伊兵衛殿

御□頭其年六十四歳夫婦之

内儀ハ六十神も納受御座候へハ

子孫繁昌富貴自在

万民豊樂と守護し給へ

かしと相納申ものなり

于時

宝曆八年

寅九月吉日

出石住 角岡平八和索

四十九、観音堂（村岡区宿）

(1) 元禄十六年募股墨書

奉納かいるまた

元禄十六年

未四月朔日

此是年ノ十二月

取付未卯月

二日ニ仕舞

大工皆々かへり

申候 以上

(2) 安永七年厨子横板壁墨書

安永七年

戊□年宮こんりう

宿村頼主上田三郎右衛門子

上田与三右衛門子

庄や  
友吉

五十五、勢主山神社（村岡区高津）

(1) 天和三年本堂造立棟札 1138 1121 143 132 11 桧・板目・台鉋

敬封

四間 大旦那大梵天王 天和三癸亥年

但州七味郡射添莊高津村中為二世安樂

四面 □□□□ 当国川会山長樂寺

成就院増意

田中八郎左衛門  
藤原行□氏小兵衛門□

白封

(ウ) (煤けて読めず)

(2) 寛政九年妙見大菩薩社再建棟札 1090 (右) 983 (左) 989 237 (155) 216 (74) 13 上下部切断 桧・板目・台鉋

封

護国天王 聖主天中天 迦陵頻伽声 領主山名朝臣義方公 下垣清左工門義忠 藤八 木挽長坂村治郎右工門 封  
 今上皇帝 参大行事 文殊師利菩薩 寛政九丁巳年 小工二方郡浜坂和七 物家数八十二棟  
 同郡木挽辺地村常七

(才) (梵) 奉再建妙見大菩薩社頭当村氏子繁昌諸願圓滿如意祈修

聖寿無疆 参小行事 弥勤菩薩 四月大吉祥日 願主当邑莊屋向谷喜七 安右工門 封  
 川会山長楽寺現住 半左工門源七 定治郎  
 遷宮導師阿闍梨義寛 嘉四郎 頭百姓 九郎兵工  
 鎮護八大天童 年寄 八右工門常治郎 與重郎 利八郎

封

哀愍衆生故 我等今敬礼 我等今敬礼 鎮護八大天童 年寄 八右工門常治郎 頭百姓 九郎兵工 與重郎 利八郎

(ウ)

一切日皆善 一切宿皆賢 菩薩皆威德

敬白

神子村岡町

羅漢皆断漏 以此城実言 願我常吉祥

□ 二方郡浜坂

藤七 吉助 □松

(3) 文化十五年千原大権現再建棟札 607 590 213 213 13 桧・板目・台鉋

大工当村

下垣治左衛門義忠

源兵衛

諸衆天中天 文化十五戊寅年三月吉祥日 藤左衛門  
 迦陵頻伽声 大檀那大梵天王 太良右衛門

(才) (梵) 奉再建千原大権現殿守護

二方郡久谷村木挽 太良右衛門  
 庄屋向谷久左衛門

哀愍衆生者 大願主帝釈天王 太良兵衛  
 我等今敬礼 遷宮導師川会山長楽寺弘誓 安右衛門  
 年寄 作右衛門 甚治郎 常治郎

家数八十一軒 世話人 貞八



(ウ) 一切日皆善一切宿皆賢諸仏皆威徳

但馬国七味郡射添庄  
高津邑

羅漢皆断漏以此誠実言願我常吉祥

(4) 天保十二年本堂再建棟札 1125 1112 141 132 10 桧・板目・台鉋

封 聖主天中天迦陵頻伽声 大檀那大梵天王 天保十二<sup>辛</sup>年 高津邑庄屋 石井定七

(才) (梵) (梵) 奉再建阿弥陀如来本堂 四間 但州七味郡射添庄高津村中為二世安楽 高津村 吉中源兵衛

封 哀愍衆生者我等今敬礼 勸進者帝釈天王 八月吉辰日 川会山長楽寺 潤秀 大工 同 伊右衛門 封

(ウ) 一切日皆善一切宿皆賢諸仏皆威徳 先普請 天和三<sup>癸</sup>亥年 羅漢皆断漏以此誠実言願我常吉祥 弥生吉祥日

五十七、薬師堂 (村岡区原)  
(1) 享保九年薬師堂建立棟札 1480 1465 180 160 20 桧・板目・台鉋

封 入仏導師射添庄川会山長楽寺大阿闍梨寛敬 願主当村 小谷小右衛門 年寄長右衛門母 村中 同断 同断 味取村 鍛治三助 封

聖主天中天 迦陵頻伽声 大旦那大梵王大旦那 同 一家中 同 一家中 山田村小工 同小工 山田村 鍛治又左衛門

(才) △(梵) 奉建立薬師堂 享保九<sup>甲</sup>辰年霜月十八日 村岡大工 角岡善左衛門 和田九右衛門 同小工 久右衛門 山田村 鍛治又左衛門

封 哀愍衆生者 勸進者帝釈天王勸進 角岡羽右衛門 角岡善左衛門 万人講中為二世安楽也 山田村 木挽吉右衛門

当領守 山名因幡守

(ウ) 一切日皆善 一切宿皆賢 諸仏皆威徳 羅漢皆断漏 以斯誠実言 願我常吉祥

(2) 弘化四年地藏堂再造宮棟札 455 434 114 95 13 杉・板目・台鉋

弘化四未歲

(才) (梵) 奉再造宮地藏堂一字者村中安全諸人快樂修

七月吉辰日 願主 原村中

(才) 開眼導師

庄屋 千助 百姓代 嘉右工門  
年寄 太助 大工二方郡  
同 芳右工門 辺地村 佐七  
川会山 長樂寺

(3) 嘉永二年藥師堂再建棟札 1502 1484 188 177 12 桧・板目・台鉋

入仏導師射添庄川会山長樂寺潤秀

聖主 天中天

大旦那大梵王大檀那

願主 当村庄屋

同断年寄

同 村中

(才) (梵) 奉再建藥師堂

迦陵頻伽声

嘉永二己酉年五月廿五日

哀愍衆生者

我等今敬札

勸進者帝釈天王觀進

当領主守 山名鞞負公

同

木挽

同郡 久谷村

半助

(才) 一切日皆善 一切宿皆賢 諸仏皆威徳  
羅漢皆断漏 以斯誠実言 願我常吉祥

五十九、観音堂 (村岡区長瀬)

(1) 寛政五年喚鐘刻銘



封

聖主天中天 迦陵頻伽声 大檀那大梵天王

当所長瀬村

庄屋

谷測与左衛門

百姓頭

治兵衛 長左衛門

敬

封

(梵) 寛政第三<sup>辛</sup>亥年 当大守山名氏 御諱御武運龜鶴

年寄

治郎兵衛

五郎右工門

彦右工門

千味本家 勘介

(才) (梵)

奉再建阿弥陀堂一字 三間 当所繁荣諸人快樂如意

(梵) 四月摩訶吉莫 入仏略供養標式 導師川会山長樂寺住法印寛明勤之

同大工 美含郡三谷

小工平野村

木挽 久谷邑

哀愍衆生者 我等今敬礼 勸進者帝釈天王

平太夫光信

太田常七

吉五郎

封

大工小代庄平野村藤原之末葉 太田忠右衛門安次

源太夫

木挽 二方郡久谷村

助治郎

封

(ウ) (なし)

(2) 文化十一年本尊再興木札 617 589 176 147 8 桐・板目・台鮑

(梵) 觀世音 不動明王

(才) (梵) 奉再興本尊阿弥陀仏

(梵) 大勢至 毘沙門天王

庄屋

文化十一<sup>甲</sup>戌年 願主 善右衛門

当村中

年寄

与左衛門

同久右衛門

村中三十一軒

(ウ)

八月吉祥日

(1) 六十一、山ノ神 (村岡区山田) 元文三年本殿鐘刻銘

奉懸山神社御宝前  
于時元文三戊午年  
二月吉辰九日

当所講中

敬白

六十二、熊谷神社（村岡区山田）  
(1) 元祿十七年鰐口刻銘

奉懸御宝前当村氏子中

于時元祿十七<sup>甲</sup>年卯月吉祥日

六十五、荒靈神社（小代区水間）

(1) 文化元年三宝大荒神社再建棟札

999 970 168 169 21 櫺・板目・台鉋

文化元年<sup>甲</sup>子龍舎 水間村庄屋井上治右衛門

年寄宗左工門 世話人徳右工門  
与右衛門 木挽水間村  
林五良

(才)(梵) 奉再建三宝大荒神社一字 願主 当村氏子中

九月大良晨 遷宮導師光明寺現住龍宝

大工棟梁大谷村

藤原朝臣中村治平

小工

中村杢右工門  
同姓長吉良

一切日皆善 一切宿皆賢 諸仏皆威徳

(ウ)(梵) 羅漢皆斷漏 以此誠実言 願我常吉祥 法主謹言

六十六、野間谷神社（小代区野間谷）

(1) 文政十一年外屋建立棟札

聖主天中天 迦陵頻伽声

野間谷村

(才) 梵 奉再建立外屋村中安全所

文政十一子年

庄屋 元治良

九月良旦

年寄

仁兵衛  
仁三良

哀愍衆生者 我等今敬礼

導師光明寺代春木村万福寺理宝

白 敬

(ウ) 梵

一切日皆善 一切宿皆賢 諸仏皆威徳

願主村中

羅漢皆斷漏 以此誠実言 願我常吉祥

六十八、光明寺 (小代区平野)

(1) 光明寺本堂向拝彫刻銘 (天保十三年カ)

彫物師

丹州栢原町住人

中井権次橋正貞

(2) 山門中備彫刻背面刻銘

城山村

寄進

黒野勝治良

豊岡住

秋塚治助広貞

(3) 弥勒堂中備彫刻背面刻銘

当村

若連中

彫工師豊岡住

秋塚治助広貞

六十九、小代神社（小代区秋岡）

(1) 享保十三年本殿再建棟札写（『兵庫県神社誌』所収棟札写）

奉再建小代大明神殿宇 心願成就祈所  
享保十三戌申霜月十六日 大庄屋 安右衛門  
庄屋 利兵衛

(2) 年不詳観音堂棟札 1118 1068 170 168 12 檜・板目・台鉋（裏は斬）(2)と(3)は重ねて釘留めされていた

(才) 棟札大菩薩山観音堂

□天廣大仏日増□  
山門村中毎遇斯辰謹集現前清衆諷誦当塗王經大悲圓滿無碍□  
消災妙吉祥陀羅尼所集殊勲仰賛 大慈大悲観世音菩薩十□一□  
常住三宝果海聖賢祝献護法列席諸天仙衆三界心禱聡十方無極  
玄造先願時清道恭朝望民安仏運延洪法輪常転次冀現前一衆同  
證圓通法界群生皆成正覚十方三世一切仏諸尊 □

(ウ) なし

(3) 宝暦三年観音堂棟札 1090 1046 160 160 9 檜・板目・台鉋

村中 丹州七味郡 庄屋久後佐右衛門 年寄 立道文左衛門 □生甚兵衛  
具一切功德 本城藤助 惣村中

(才) 経日

慈眼視衆生 于時宝暦三癸酉ノ歳正月大吉祥日 龍泉現住凌天謹書 木挽 平四郎  
福聚海無量 喜三在衛門 勤兵衛 大工 武右衛門 助右衛門  
是故応頂礼 繁昌 小代之庄穂岡邑 組頭三良兵衛 徳右衛門 神主 吉左衛門  
五良兵衛

(ウ) なし

七十、大日堂（小代区東垣）

(1) 寛政八年大日堂建立棟札 884 876 203 192 19 檜・板目・台鉋

寛政八辰丙年

庄屋

(梵)一切日皆善 一切宿皆賢 諸仏皆威徳

図人

今井藤左衛門

(才) 奉建立大日堂一字 願主当村中

年寄

忠右衛門

(梵)羅漢皆断漏 以此誠実言 願我成吉祥

キモイリ 磯五郎

三月十六日入仏 導師光明密寺現住賢龍敬白 鍵取者 要助

(ウ) (取り外さず、未解読)

(2) 享和四年三宝大荒神社再建棟札 706 695 116 115 10 檜・板目・台鉋

享和四年<sup>甲</sup> 東垣村庄屋今井宗助 年寄 茂市良

要助

(才) 奉再建三宝大荒神社一字 願主 当村氏子中

二月大良辰 遷宮導師平野村光明寺現住□宝代 大工 茅野村 宗兵衛

(ウ) (取り外さず、未解読)

(3) 文化七年大日如来宮殿再建棟札 680 663 141 140 18 檜・板目・台鉋

文化七<sup>庚</sup> 小代庄東垣村庄屋今井藤左衛門 年寄 宗次郎

(才) 奉再建大日如来宮殿一字 願主当村中

磯八

七月大良辰 入仏導師光明寺龍宝代 大工棟領太田忠右工門光往

(ウ) (取り外さず、未解読)

七十一、吉滝神社（小代区鍛冶屋）

(1) 天明二年熊野七社大権現宮再建棟札 1038 1025 156 150 12 杉・板目・台鉋



(才) (梵) 聖主天中天 大檀那大梵天王 天明二壬寅 九月吉祥日  
迦陵頻伽声 奉再建立熊野七社大権現宮一字 御武運長久如意祈所  
哀愍衆生者

我等今敬礼 勸進者帝釈天王 遷宮別当光明寺法印龍瑞敬白

(ウ) 領主 山名鞞負義徳  
家人 大坪孫右衛門貞国 大庄屋実山村井上糸右衛門□明  
土井幸左衛門重規 鍛冶屋村庄屋太七郎  
東垣村庄屋四良三郎  
東垣村年寄 忠右衛門  
下村左内 展政  
中村数馬 重旧  
鍛冶屋村年寄 德右衛門  
金右衛門  
用人 小原 貢 利将 世話人 鍛冶屋村 忠右衛門  
池田金太夫 顕俣 東垣村 代三郎  
両村惣氏子中

代官 田原 蔀 正厚

(2) 推定天明二年熊野七社大権現宮再建棟札 (おそろく(1)と一具)

(才) (梵) 一切日皆善 一切宿皆賢 諸仏皆威徳 龔言 (梵)  
羅漢皆断漏 以此誠実言 願我常吉祥

(ウ) 棟梁藤原大工 大谷村 中村奎右衛門吉孝 中村清兵衛 太田常七  
実山村 太田治八安繁 中安勇八 小田垣数右衛門 実山村勝治郎  
後見藤原大工 大谷村 中村惣右衛門吉次 小工茅野邑村尾弁右衛門秀政 神水村安七  
平野村 太田半八安績 井上彦四郎 井上友治郎 木挽 野間谷村定右衛門  
大谷村伊八

(3) 弘化三年善瀧宮内殿再建棟札

御家中

御領主山名鞆負源義問公

垣屋左次馬日下問審

大工 新屋村

棟梁 重治良

山名志津馬源問一

鍛冶屋村

平野村

沢山義三源問綱

庄屋利左工門

後見 吉左工門

聖衆天中天  
迦陵頻伽声

大檀那大梵大王

田原太郎兵衛橋正修

東垣村

土井幸左工門源重礼

庄屋藤左工門

脇棟梁 弁右工門

哀愍衆生者

大願主帝釈天王

太田垣又七郎日下朝定

年寄才助

佐坊村

我等今敬礼

沢山義兵衛源問好

同断伝左工門

嘉吉

弘化三丙午歲

海老名三郎源吉明

世話人 忠右工門

新屋村重治弟子

秋九月初七日

宮田又左工門千葉常陳

東垣村

木挽

平野村牛玉山

願主 兩村 氏子中

忠宮村

小工 敬三良

棟梁 武右工門

弟子

弘然

弘善

同弟子

佐坊村利左工門

鍛冶

平野村

太右工門

(ウ)棟札

一切日皆善 一切宿皆賢 諸仏皆威徳

羅漢皆断漏 以此誠実言 願我成吉祥

七十二、八幡神社 (小代区貫田)

(1) 寛政七年稻荷社再建棟札 585 578 130 122 8 杉・板目・台鉋

寛政七卯年 御領主山名小太郎殿時代也 但州七味郡貫田村

発願主

田村太良左衛門

(才) (梵)

一切日皆善 一切宿皆賢 諸仏皆威徳

奉再建稻荷社一字 大願主 氏子中

庄屋

与市郎

羅漢皆断漏 以此誠実言 願我常吉祥

年寄 孫四郎

十一月廿八日 别当平埜村牛玉山光明寺

賢龍 導師相岡万福寺義運 敬

代

二方

助五郎

白

(ウ) (梵) 当邑 鍵取 孫左衛門  
平替邑 大工 太田忠右衛門

(朱書) 貫田村

(2) 文化十二年八幡大菩薩社再建棟札 666 655 210 210 10 檜・板目・台鉋

文化十二年<sup>亥</sup>九月晦日 大願主 田村太良左衛門貞長 年寄 利左工門  
庄屋田村源左衛門 鍵預 嘉四郎  
願主 惣村中 治良右工門

(才) (梵) 奉再建八幡大菩薩社一字

遷宮導師光明寺現主龍宝敬修 大工棟領 太田忠右工門光往 木挽 治兵衛  
平野村住 実山村

(ウ) 小代庄貫田村

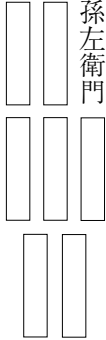
(3) 年欠三宝荒神社頭再興棟札 536 522 105 10 杉・板目・台鉋 (寛永〜元禄期か) 右上部欠失

(欠損) (欠損) (欠損) 封  
迦陵頻伽声 当大守山名伊豆守公 施主当村与左衛門

(才) (梵) 奉再興三宝荒神像<sup>竝</sup>社頭信心檀主願望如意円満処

哀愍衆生者 我等今敬礼 大勧進大釈天王 開眼導師光明寺現主法印湛然  
九月十七日 封

(ウ) (梵) 一切日皆善 一切宿皆賢 諸仏皆威徳 大工萱野村弥兵衛家次  
羅漢皆断漏 以此誠実言 願我常吉祥 社施主 孫左衛門



七十六、観音堂 (小代区神水)

(1) 宝曆十三年観音堂願主札 (観音堂建立) 989 961 196 190 13 檜・柂目・台鉋・横使い、右下部切断

(才)当邑堂願主

- 一 井上清左衛門子 要助
- 一 武田安右衛門子 平四郎
- 一 宅戸平八子 兵助
- 一 宅戸平八子 栗平
- 一 同名 佐右衛門子
  - 友治郎
  - 左平次
  - 定四郎
- 一 武田 半次郎子 嘉七郎
- 一 市十郎子 弥七郎
- 一 宅戸 与平治子 治五郎
- 一 忠四郎子 庄助
- 一 平右衛門子 徳治郎
- 一 伝左衛門子 文治郎
- 一 半十郎子 藤治郎
- 一 利兵衛子 弥左衛門
- 一 長兵衛子 藤七
- 一 八兵衛子 伊八
- 一 政右衛門子 友七
- 一 八郎兵衛子 文七
- 一 吉兵衛子 長七
- 一 宇右衛門子 市右衛門
- 一 善四郎子 安五郎
- 一 紋右衛門子 又四郎
- 一 升右衛門子 定右衛門
- 一 文右衛門子 得□

ノ式拾五人

癸 十三年  
宝曆  
未十月日

(ウ) なし

七十七、白山神社（小代区神水）  
(1) 明和五年白山大権現社遷宮（本殿建立）棟札 ㊦㊧㊨左下部切断

日月 春日大明神 天下泰平 導師権大僧都妙法院修之  
(才) 奉遷宮白山大権現社堂宇 小代庄神水村惣氏子中 龔言  
清明 多賀大明神 国土安全 同所鍵主 平八

明和五年

(ウ) (梵)

戊子 九月九日

七十八、荒靈神社（小代区神水）  
(1) 天明五年三宝荒神宝殿再建立棟札 875 868 97 92 18 檜・板目・台鉋

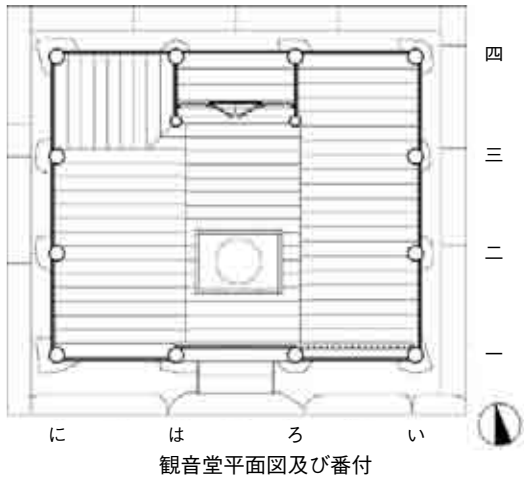
聖主天中天 大旦那大梵天王 天明五乙巳歳 願主当村中 大庄屋 井上條右衛門 当村庄屋 井二治郎右工門 年寄 井口茂八郎 同 木村久四郎  
迦陵頻伽声 大旦那大梵天王 天明五乙巳歳 願主当村中 大庄屋 井上條右衛門 当村庄屋 井二治郎右工門 年寄 井口茂八郎 同 木村久四郎  
(才) (梵) 奉再建立三宝荒神宝殿一字社頭不朽神威倍增当邨繁荣所 平野村 大田忠右工門 脇大工平野村 常七  
哀愍衆生者 勸進者帝尺天王 四月大吉祥日 遷宮導師神宮寺法印龍瑞敬白 棟梁 長板村 中村友七 木挽長板 治八  
我等今敬礼

(ウ) (なし)

## 史料二 大糠神社観音堂墨書積文

大糠神社本殿（村岡区村岡大糠）に隣接して建てられた観音堂は小規模な仏堂である。正月にはこの建物に大糠集落の住民が集まり、正月を祝うとともに観音様に餅を供える行事が行われているという。集落の年中行事と密接に関係する貴重な建物であるが、それと同時に、かつては神社前の山陰街道を通る廻国修行者などが休息所・宿泊所として利用していたようで、堂内の柱や壁面には彼らの記した多くの墨書が残されている。

以下では、左の平面図に示した番付にしたがい、一 側柱、二 壁面、三 仏壇周りの順で墨書の積文を掲げる。なお、仏壇周りの積文の（ ）付番号は、この頁の三点の写真に示す部材の番号と一致する。積文の字配りは、柱や壁面における文字の配列を相対的に示したものである。墨書のなかには不鮮明なものもあり、墨書があることは確認できるものの、墨が薄れ全文が判読不能なものについては割愛したことをあらかじめ断っておく。赤外線写真は村田信夫の撮影による。



一 側柱

(一) い一柱



「奉納大乘妙典日本回国」

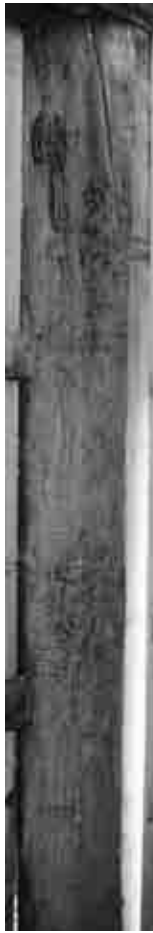
「南無阿弥陀仏」

未七月九日

「日本回」



(二) ろ二柱



「なむ阿ミた仏」

「久兵衛」  
「水谷与」

(三) は一柱



「廻国」

江戸霊岸嶋利兵衛

亥六月 日此 休

「武州」 弥陀

「伯州会见郡はま之周渡り村浅右衛門」

「日本回国」

(四) に一柱



「廻国能州能登郡」

筆染村

(五) に二柱



「水戸山村左」

「六十六部廻国」

「元文五年 上下八人」

「南無阿弥」

「いせ桑名岡田勘助」



「南無阿弥陀仏」

江戸

寛保三 南

「南陽」 立郡南部領国

寛保三 南

(六)に三柱



〔諸州回国攝陽大坂応譽浄感〕

〔宝永三酉戌正月吉日〕

〔六十六部日本廻国〕

〔回国伊藤新右衛門〕

〔 〕



〔但ちにめ 〕身 〕

此しやハ 〕こんどかとへんは

花のミニゑ 〕繁 〕

と奉存候以上 〕

〔奉 三拾三所 伯州米子 西町善三郎〕

〔 〕

(七)に四柱



〔いつのくに 〕ひん 〕

〔 〕

〔 〕

〔 〕

七郎 〕

(八)は四柱



〔 〕同行三人 〕

〔 〕鹿島郡 〕村 〕善右衛門 〕日本回国武州 〕

〔梵字〕南無妙法蓮阿弥陀仏 〕

(※)

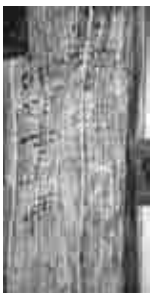
〔寛保三 〕一月 〕

(※)

六月 〕

〔 〕

(九)ろ四柱



〔 〕武州江戸 〕

池田吉兵衛 〕



(一〇) い四柱



「巡国江戸ひん」

上野国村上村新井伍太舗」

「江戸」

(一一) い二柱



「郡」

「誉伝」

「大糠村」

「大」

(一二) い三柱



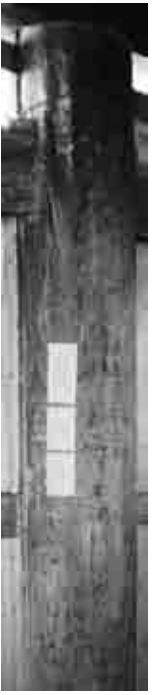
「和」

「日本回国六十六部 伯州久米郡三保村 山本武」

戊五月二十六日

岡山

出領



「ひ喜八」

二 壁面

(一) いころ

上段壁

「六十六部」



(ペン)

「昭和三十七年一月張替」

大工 村岡 西尾茂治」

(二) はく

内法貫



(戯画)

(三) 21~22

内法貫



(戲画)

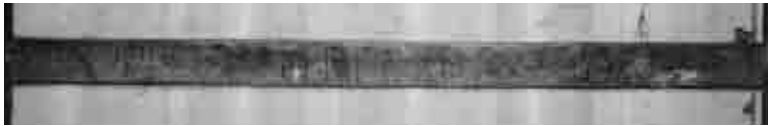
(四) 22~23

① 飛貫



「六十六部  
山本長  
武州  
妻田村  
□□衛門  
大西」

② 内法貫



「美含郡□円海法印」

(五) 23~24

① 飛貫



「日本 □□ 廻国 □□  
□□ □□ □□  
「らく□□□」

② 内法貫



「帝陸鹿島郡水戸磯浜日本廻国谷口善八政房」

③ 腰貫



「六十六部尾州知多郡 □□ 村□山藝道」

(六) に四は四

① 飛貫



「上野国根岸弥市良」  
「上州」  
「惣社町」  
「浄心」

② 内法貫



「寛文六年五月十一日」

③ 腰貫



「南無阿彌日本廻国」  
「大坂」  
「敬白」

(七) ろ四い四

① 飛貫



「六十六所」  
「広島」  
「野」  
「奉納」  
「大乘」  
「妙典」  
「日本」  
「回国」  
「六十」  
「六部」  
「郎譽」  
「是空」  
「同行衆」  
「井」  
「浦」  
「正徳五未」  
「六月上」  
「妙見山へ」  
「通」

② 内法貫



「江戸淺草區仲町大崎九兵衛同行四人己八月二十七日」

③ 腰貫



「和朝廻國」

(八) い四〜い三

① 飛貫



三人 同

② 内法貫



「秦綱大兼妙典六十六部尾州知多郡卯山義道」

(九) い三〜い二

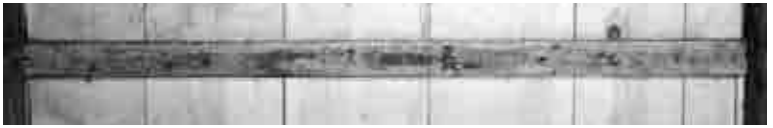
① 飛貫



国廻

〔鎮西〕

② 内法貫



長崎 徹 亥 二月 十日

③ 腰貫



「日本廻国上野国渡部平左衛門」十三日丹後江通り申候

「享保貳年

(10) 31531

①内法貫



「長浜村西  
戌八月五日  
たばこ致  
申度候」

②腰貫



「市□市  
□一  
中辻」  
(戯画)  
(戯画)

三 仏壇廻り  
(二)ろ三柱

①東面



「延京元年  
八月□二十二日」



「八日市場浄観 勢州桑名 □」  
「通喰自□納□」  
下総国匝瑳郡 南無阿弥陀仏然譽廓澄拜書」  
「六月三十日 南無阿弥陀仏」  
「快靈殿八見二被書通喰也」  
「奉納 □西□品 □」

②西面



「下総国岡田郡大輪村  
本所八月二十八日  
通り申候」

「奉納大乘妙典六十六部 □村久兵衛」

③南面



「江戸谷中  
四国阿波通喰」

④ろ通り舟肘木下面



「□□□書」

(二) は三柱

①東面



「(梵字) 日本回国元文元年

武陽元数奇屋町

辰ノ六月二十三日 恵岸

「南無阿弥陀仏」

「円蔵」

「奉納西国三十三所」

②西面



「信州筑摩郡大町木寺利右衛門」

「乙」

③南面



「四国

西国

秩父

坂東

百八十八ヶ

④は通り舟肘木下面



「南無阿弥陀仏

日本回国

日本廻国

大

巳七月二十日

大をおいかけ

内

「享保十四年

奥州南部

「へ罷通り」

(三) ろろろ四壁面東側面

① 上段壁・飛貫



〔天下泰平 尾州熱田〕

南無妙法蓮華經

国土安全 尾頭町小和田義

〔西上総国天羽郡大貫莊金谷村住

法名廻休信士〕

〔行者平□

六月十有七日〕〔安槻市平安信〕

〔戲画〕 〔上野六左衛門〕

〔順譽円教居士

〔戲画〕

亥五月十三日罷通り申候〕

〔天下 丹州中郡

奉納大乘妙典

泰平 苗代村

〔垂心〕

〔松山居士〕 〔戲画〕

〔岡田平兵衛〕

② 飛貫

〔勢宗〕〔鹿宗 蘇田 鹿野 小栗田 六左衛門〕

③ 中段壁



〔戲画〕

〔南無妙法蓮華經 清四郎〕

〔南無阿弥陀仏〕

〔南無阿弥陀仏〕

〔是より明見山丹州罷通り〕

〔享保四年五月十二日

上総国夷隅郡江場土村

大戸清四郎〕

〔南無阿弥陀仏〕

〔雲州神門郡

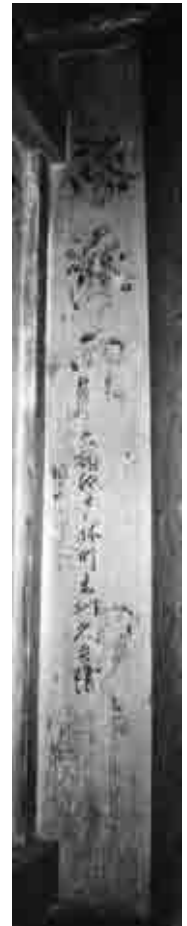
□江村岡□右衛門〕

④ 下段壁



「申□かへ候やに  
八匆くたさる□  
かと申やう候  
八匆披遣候而  
一ばん可披成候  
ひげのない  
へ□□□ざ□れ□□」

(四) ろ三ろ四壁面西側面



「(梵字)(梵字)西社」

「六部江戸林町木村久兵衛

因州□□」

(五) は三ろは四壁面東側面



「青□□」

「十□□□□□□」

「ハ□□たかくきかう□□村□□」

「六十六部伊豆国□□□卯九月二十日」

(戯画)





(六) は三くは四壁面西側面  
① 上段壁



(戯画)

「享保第四亥五月十三日

「信州」 伊勢松坂 [ ] 町 [ ]

同行四人

「いつも国

[ ]

「常陸国 [ ]

(戯画)

「上総国江場土村三人組  
大戸清四郎」

(戯画)

② 飛貫

「知 郡 多 [ ]

③ 中段壁



「同利 [ ]

「同利」

「堀内新五郎」

「享保四七月朔日

上総国萬喜村  
小安武兵衛」

④ 下段壁



「南無」  
天下  
南無  
武蔵国  
亮純 一譽性空  
同江戸住  
豊後国  
西川吉平

(七) ろ三は三  
通肘木



「武州玉住 一譽性空 心阿 享保四 亥五月 朔日 信清 反町 本木 半七 利介」

① 正面

「南無阿弥陀仏日本石脚上総国海濱回行二人」

② 下面

(八) ろ三は三  
通肘木楣間小壁

「享保四歲亥五月十二日拜之  
日本回國上総国回前二人組石井彦次郎」

「武州 足立 下石戸 回國 知道 法印 未五月」  
「いせ城野 喜八」

(九) ろ三は三  
楣

「い六月十二日 書之」  
「城野 喜八」  
「南無阿弥陀仏」  
「列空山」  
中山

(一〇) 東小脇板



〔武蔵江戸住中嶋宗〕

〔従是

丹後〕

〔いセクワナ

石橋八〕

〔あさ

彦兵衛

庄三郎

〔久兵衛

平

〔当村

秋

六部

〔肥後熊本

同城〕

〔享保

加〕

文政八酉〕

〔ところ

ひ

〔や

(一一) 東方立



〔梵字〕

南無

〕

〔妙典日本回国〕

(一二) 東板扉

①表面



〔いよ松山柳〕

町太右衛門

〔南無阿弥

〕

南無妙法蓮華経

〕

②裏面



「享保十五年 和州宇智郡二見村中山長三郎」

南無阿弥陀仏 勢州津八幡町直誉単西折事

戌十月十二日」

「南無阿弥陀仏（戯画）丙辰四月十七鳥通

皈命救世大聖尊

越陽敬人土橋氏」

「天下泰平享保五歳四月七日

南無大師遍照金剛高野山秀海」

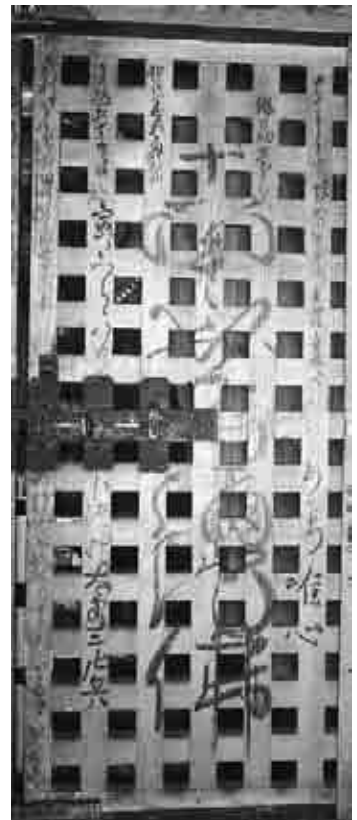
「南無阿弥陀仏

巳五月五日通」

「大坂堂島

坂本儀兵衛」

(一三) 東格子戸



「申ノ三月十四日通ル南無阿弥陀仏 京都住受然巳六月二十六日 也」

「あわち唯心」

「作州常貞」

「南無阿弥陀仏」

「和州宇智郡寿命村

清島兵十郎弥惣之二人」寅ノ六月八日ニ通□□□□」下つけ太□庄兵」

「つ□□□□□めとりて□□□□さ事候者也」

「武州江戸市ヶ谷田町四丁目野田忠兵衛

享保十三年申六月十九日」

(一四) 西格子戸



「常陸水戸西川や法□」 「なさけ□そま□法□□心也」

「武州越ヶ谷欣譽献□」 「行者」 「因州鳥取住人

「下野日光石屋町自照同行三人ニテ」 享保拾五年

「下総州清譽願故□」 十六日□」 「南無阿彌た仏日本回国

「三州賀茂郡高橋庄小向見村鈴木理右衛門敬白」 戌ノ卯月八日通

六十六部久木田藤助」

「六十六部上野国新田郡内島村行者法嚴同行三人たんこへ三月十三日罷通り」

(一五) 西板扉

①表面



「□□修行□□」

「天下□□」

「奉納□□」

「奉納大□□」

②裏面



「まよう身か今ハ諸国へ参り来て  
神や仏之ちかい新サ水戸法□」

「摂州大坂住

坂本儀兵衛

出羽円西

「元大日本回国」

「上州のどの

亮運（花押）」

「武州葛西住人中嶋市兵衛」

「六十六ふ」 「下総国海上郡十日市場村

伊藤伊左衛門」

③木口



「六十六部東上州新田郡□□巖」

(二六) 西方立



「享保十二丁未天 橋本又四郎

日本回国六十六部肥前国長崎

十二月吉祥旦 新大工町」

(二七) 西小脇板



「南無阿□□□□」

「亥六月二十五日

小仁□□

一人」

「□□西国 □□

南無阿弥陀仏」

「南 □□□□

「つく □□□□